

# ようこそ！ 日進小学校 ことばの教室 へ



## <メニュー>

- ① [はじめに](#)
- ② [対象となる子ども](#)
- ③ [通級による指導](#)
- ④ [通級開始から終了まで](#)
- ⑤ [通級児童数](#)
- ⑥ [問い合わせ先・交通](#)
- ⑦ [ことばの教室の様子](#)



## <お知らせ>

[戻る \(日進小トップページへ\)](#)

# ① はじめに

---

「ことばの教室」は、聞こえや言葉の面を支援する、通級指導教室です。通級指導教室とは、通常の学級に在籍している子どもたちが、週に1～2時間程度、それぞれの課題に応じた指導を受ける教室で、授業中や放課後に通うことができるようになっています。聞こえにくかったり、話し言葉がはっきりしなかったりする子どもたちが、学校生活や社会生活で困難な場面にあたり、不適応を引き起こしたりすることがないようにするためには、早期に発見し、適切な指導を行っていくことが大切です。子どもたちが、よりよい学校生活を送れることをねらいとし、保護者の方や学級担任の先生、必要に応じて専門機関とも連携を図りながら指導を進めていきます。

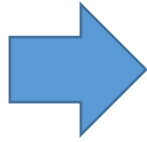
さいたま市内には、聞こえや言葉に関する専門的な指導を行う場として、「ことばの教室」が9校（小学校 8教室、中学校 1教室）設置されています。本校ことばの教室は、平成21年に開設され、現在に至っています。

[戻る（ことばの教室トップページへ）](#)

## ② 対象となる子ども

### ○ 聞こえにくい子（難聴）

- ・補聴器や人工内耳をつけている。

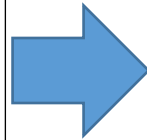


#### 学習のねらい

- ・補聴機器を活用し、聞き取りの力を高める。
- ・視覚的な手段を活用し、情報収集力を高める。
- ・基礎的な言語力を育てる。
- ・コミュニケーションの力を育てる。
- ・難聴について学ぶ。

### ○ 言葉がつまって話しにくい子（吃音）

- ・話すときに、音や言葉を繰り返したり、引き伸ばしたり、言葉が出にくかったりする。
- 例「あ、あ、あそぼう」  
「あーそぼう」  
「・・・あそぼう」

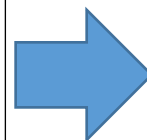


#### 学習のねらい

- ・楽に読んだり話したりする。
- ・コミュニケーションの力を育てる。
- ・話すことへの自信を育てる。
- ・吃音について学ぶ。

### ○ 発音に誤りがある子（発音）

- ・正しく発音できない音がある。
- 例「さかな」→「たかな」  
「ケーキ」→「チェーチ」
- ・こもったような音、息がもれるような音になる。



#### 学習のねらい

- ・習慣化している誤りの状態を改善し、正しい発音ができるようにする。
- ・コミュニケーションの力を育てる。

[戻る\(ことばの教室トップページへ\)](#)

### ③ 通級による指導

#### (1) 学習形態

- ・ 教師と1対1の個別学習が中心です。
- ・ 難聴と吃音のある子は、必要に応じて、グループ学習を組み合わせで行います。
- ・ 週に1～2時間程度、決められた曜日、時間帯に通います。
- ・ 指導中は保護者の方の同席が基本です。
- ・ 在籍学級の授業中に通級する場合は、遅刻・早退扱いにはなりません。

#### (2) 学習内容（予定）

	難 聴	吃 音	発 音
個 別 学 習	○聞き取りの練習 ○言葉の力を高める学習 ○コミュニケーションの学習 ○聞こえについての学習	○話し方の学習 ○コミュニケーションの学習 ○吃音についての学習	○発音の学習 ○コミュニケーションの学習
グ ル 学 習	例「なかよし集会」 「オクラの収穫祭」 「学習発表会」	例「なかよし集会」 「ことばのわくわくまつり」 「6年生を送る会」	

※ 内容が変わる場合があります。

#### (3) 学習環境

- ・ 各学習室は、防音等に配慮した静かな学習環境が整えられています。
- ・ 学校の新しい生活様式に基づいて、指導を行っています。



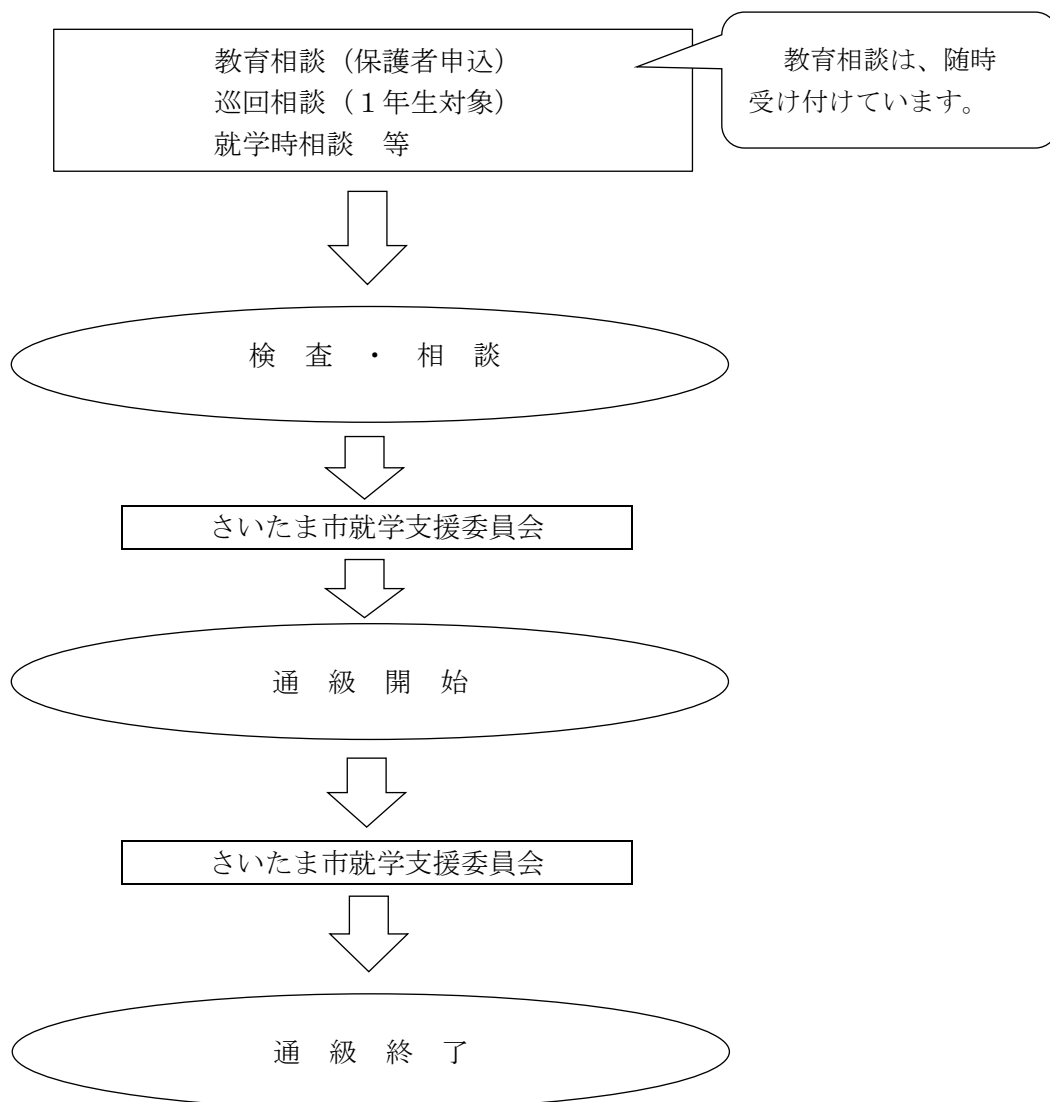
個別学習室



集団学習室

[戻る（ことばの教室トップページへ）](#)

## ④ 通級開始から終了まで



[戻る（ことばの教室トップページへ）](#)

## ⑤ 通級児童数

R4. 5. 1 現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
難聴	1	0	0	2	1	0	4
吃音	0	3	4	3	6	1	17
発音	1	27	14	8	4	3	57
計	2	30	18	13	11	4	78

※年度の途中で開始・終了があるため、児童数は変わります。

[戻る \(ことばの教室トップページへ\)](#)

## ⑥ 問い合わせ先・交通

本校の通級対象となるのは、原則として、北区にある小学校に在籍する子どもたちです。



聞こえや言葉の相談は、随時行っています。  
相談のある方は、直接お電話ください。

**日進小学校 ことばの教室（直通）**

**電話&FAX 048-663-6948**

**受付時間 8時20分～16時50分**

(この時間帯以外は、通話中音に切り替わるため、通話はできません。)

<所在地> 〒331-0823 さいたま市北区日進町2-9-11

<交通> JR日進駅より 日進駅南口から「日進七夕通り」を直進、  
徒歩10分です。



[戻る（ことばの教室トップページへ）](#)

## ⑦ ことばの教室の様子

---

ことばの教室での児童の活動の様子については、以下のリンクをクリックしてご確認ください。

<令和4年度の様子>

- ・[担任担当者連絡会\(難聴\)](#)
- ・[担任担当者連絡会\(吃音\)](#)
- ・[1学期 難聴 グループ学習「学習発表会」](#)
- ・[1学期 難聴 全体交流会「なかよし集会」](#)
- ・[1学期 吃音 グループ学習「なかよし集会」](#)

[戻る \(ことばの教室トップページへ\)](#)



## 担任担当者連絡会（難聴）



全体会



分科会



分科会

6月8日（水）

難聴がある子どもたちを担当されている先生方を対象にした担任担当者連絡会が行われました。

全体会では、ことばの教室の概要や難聴がある子どもたちの理解と支援について話をしました。聞こえにくい子の学校生活と先生方をお願いしたいことを中心にお伝えし、ことばの教室での学習の様子を映像で見ただいたり、補聴器やロジャーの聞こえの体験をしていただいたりしました。

分科会では、担当別に分かれ、担任の先生と情報交換を行いました。

## 担任担当者連絡会（吃音）



全体会



吃音クイズの様子



分科会

6月14日（火）・29日（水）

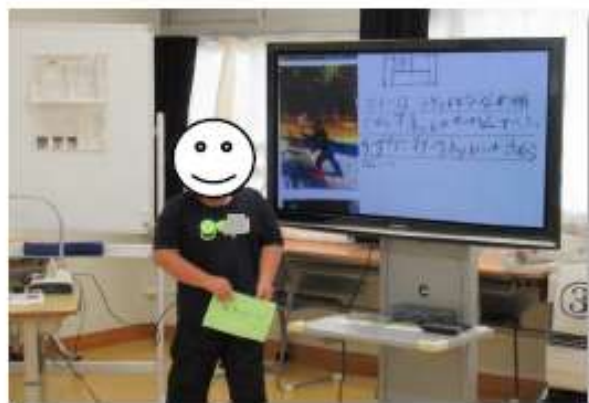
吃音がある子どもたちを担当されている先生方を対象にした担任担当者連絡会が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症防止のため2日間に分けて実施しました。

全体会では、ことばの教室の概要や吃音がある子どもたちの理解と支援について話をしました。吃音がある子の心理やそこから派生する問題を説明し、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、先生方に配慮していただきたいことをお伝えしました。また、ことばの教室での学習の様子を映像で見てください、最後に吃音の基礎知識について、クイズ形式で理解を深めていただきました。

分科会では、担当別に分かれ、担任の先生と情報交換を行いました。



## 1学期 難聴グループ学習 「学習発表会」



テニスについての発表



オカメインコについての発表



質問を考えている様子

5月13日（金） 難聴グループ学習「学習発表会」が行われました。

昨年度、3月に予定していた「学習発表会」が実施できなかったため、5月に実施しました。児童一人ひとりが好きなことについて調べ、新聞や本にまとめ、発表しました。発表後は、新聞や本を交換して読み合い、発表の中で、わからなかったことやさらに聞きたいことをお互いに質問し合い、その後、感想を伝え合いました。

難聴グループでは、聞き取ったことで分からないことがある場合、それを分からないままにせず、お互いが、きちんと分かり合って活動することを目指し、コミュニケーションの実践力を高められるように学習しています。

## 1学期 難聴グループ学習 「なかよし集会」



自己紹介・質問交流



ゲームを進行する4年生



的入れゲームの様子

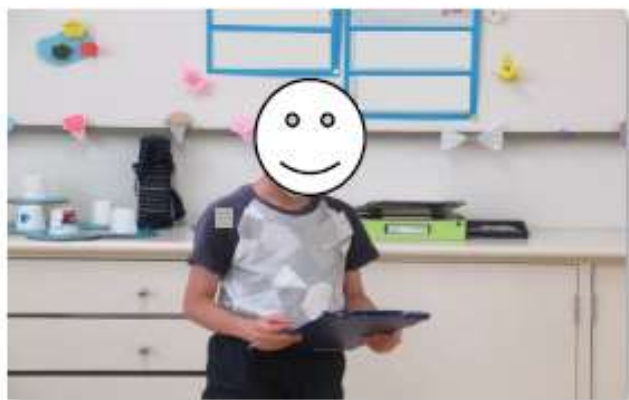
7月1日（金） 難聴グループ学習「なかよし集会」が行われました。

今年度、新たに1年生を迎え、みんなで楽しい会ができるように4、5年生が全体交流会を計画・準備しました。そして、当日も司会、はじめの言葉、ゲーム進行、おわりの言葉の係を分担し意欲的に取り組みました。

自己紹介の後は、お互いに質問をし合いました。的入れゲームは親子対抗で行い、楽しく盛り上がりました。



## 1学期 吃音グループ学習 「なかよし集会」



司会をする6年生



はじめの言葉を言う4年生



カーリングゲームの作戦会議

7月4日（月） 吃音グループ学習「なかよし集会」が行われました。

今年度、吃音グループは、17名でスタートしました。リーダーの6年生、サブリーダーの4・5年生が中心となり、「なかよし集会」の企画・準備を進めてきました。当日は自己紹介から始まり、チーム対抗でカーリングゲームを行いました。各自が作ったカーリング盤を投げとても盛り上がりました。

吃音のグループ学習では、仲間の姿から吃音を学ぶと共に、実践的な場面で「楽な話し方のスキル」や「コミュニケーションのスキル」を活用したコミュニケーションの力を育てていきます。